

平成 29 年度 第 6 回
国家資格 キャリアコンサルタント試験

実技試験（論述）問題用紙

実施日 ◆平成 29 年 11 月 26 日（日）

試験時間 ◆14：30～15：20（50 分）

★注意事項★

- 逐語記録を読み、解答用紙の問い合わせごとに記述してください。
- 解答用紙に受験番号・氏名を記入してください。記載漏れがあった場合は採点されません。
- 試験中は、受験票、腕時計、筆記具（鉛筆、シャープペンシル、消しゴム）以外のもの（定規、メモ用紙、筆記用具入れ等）は机上に置かず、カバンの中などにしまってください。
- 受験票は、机上の通路側に見えるように置いてください。
- 試験中は、携帯電話・スマートフォンなどすべての通信機器および電子機器は使用できません。
必ず電源を切って、カバンの中などにしまってください。
時計のアラーム等、音の出る機能も使用できません。
- 試験中は、乱丁・落丁・印刷不鮮明に関する質問以外はお受けできません。
- 不正行為があったときは、すべての解答が無効となります。
- 試験終了の合図が告げられたら、直ちに筆記具を置き、監督員の指示に従ってください。
- その他、監督員の指示に従ってください。指示に従わない場合は、失格となります。

【退席時の注意事項】

- 試験開始後30分経過した時点で途中退出できます。途中退出する場合には、挙手し、監督員の指示に従ってください。問題用紙はお持ち帰りください。
- 試験終了時刻5分前からは退出できません。試験終了後、監督員が解答用紙を回収しますので、着席したままでお待ちください。

- 実技試験の合格は、論述試験および面接試験の両方とも合格基準に達することが必要です。
- 平成30年1月5日（予定）に、受験者全員に結果通知書を送付いたします。
- 合格者は、当協会の Web サイトに受験番号を掲載してお知らせします。
(<https://www.jcda-careerex.org/result.html>)

厚生労働大臣登録試験機関

特定非営利活動法人日本キャリア開発協会

設問

事例 I・II 共通部分と事例 I、II を読んで、以下の問い合わせに答えよ（事例 I と II は、同じ相談者（CL）、同じ主訴の下で行われたケースである）。（50 点）

相談者（CL と略）：A、26 歳女性、四年制大学卒業 専門学校勤務 入社 4 年目

総務部広報担当 一人暮らし

キャリアコンサルタント（CCt と略）：相談機関のキャリアコンサルティング専任社員

【事例 I・II 共通部分】

CL1：このまま今の職場で仕事を続けていいのかどうか分からなくなって相談に来ました。

CCt1：このまま仕事を続けていいのか分からなくなった。どういうことが話していただけますか。

CL2：3ヶ月前に上司が変わり、これまで自分で工夫してわりと自由に仕事をしてきましたが、その上司からは細かいところまで指示をされるので、やる気をなくしていました。

CCt2：どのようなお仕事をされておられるのですか。

CL3：主に学校を紹介するチラシやオープンキャンパスなどのイベントのチラシ、ダイレクトメールの作成、HP の更新などです。学校を PR するために、授業科目の構成や施設等の学校の特長を分かりやすく伝えたり、在校生の声などを載せたりしています。

【事例 I】

CCt3：上司の方からの指示が納得できないということですか。

CL4：全部を納得できないわけではありません。でも、私がこちらの方がいいと思って提案しても受け入れてもらえない。指示に従うように一方的に言われます。だんだん自分で考えることをしなくなっているような気がします。

CCt4：仕事が続けられない」としたら、転職も視野に入れていると思いますが、そのあたりも具体的に考えていらっしゃるんですか。

CL5：これまで一生懸命、目の前の仕事に取り組んできましたので、自分に何が向いているのか考えませんでした。それにどのようにして探していくべきかもよく分かっていません。

CCt5：それでは、ご自分のこれまでやってこられたことを振り返って、スキルや興味などを整理したり、求人情報などを検討されたらどうでしょうか。

CL6：えっ…。そうですね…。

CCt6：まず、これまでのお仕事でやりがいを感じたことなどを話してください。それから整理していきましょう。

CL7：あ、はい…。よろしくお願ひします…。

（後略）

【事例 II】

CCt3：「やる気をなくした」と言わっていましたが、最近はどんなことがあったのですか。

CL4：先週、HP を作成している時、在校生のいい笑顔の写真があったので、これを載せたいと思って上司に確認したのですが、上司からはすぐに「アングルが悪い。センスがない。」と言われて、別の写真に変えさせられました。この時は、色のバランスや表題の長さ、文章の表現などにも細かく指示を出されました。

CCt4：それでやる気をなくしたのですね。

CL5：そうなんです。やる気をなくした…そうですね、むしろ、この時は悲しくなったという方がいいかもしれません。

CCt5 : 悲しくなった？どうしてですか。

CL6 : う～ん、そうですね。その上司は私がこの学校に就職する時、学校の特長をすごく丁寧に教えてくださって、いい方だなと思っていました。上司になった時は嬉しかったです。でも今はその上司から自分が信頼されていないと感じて・・・、なんだか悲しくなりました。

CCt6 : いい人だと思っていた上司から信頼されていないと感じて・・。

CL7 : そうですね。何か一方通行の感じで・・。

(後略)

※以下の各問い合わせに対する解答について字数に制限はありません。ただし、解答は全て解答用紙の行内に記入してください。行外および裏面に記述されたものは採点されません。

[問い合わせ 1]

事例 I と II はキャリアコンサルタントの対応の違いにより展開が変わっている。事例 I と II の違いを下記の 4 つの語句（指定語句）を使用して解答欄に記述せよ（同じ語句を何度も使用しても可。また語句の使用順は自由）。（15 点）

指定語句

固有 経験 感情 ものの見方

[問い合わせ 2]

事例 I の CCt4 と事例 II の CCt3、CCt5 のキャリアコンサルタントの応答が、相応しいか、相応しくないかを考え、「相応しい」あるいは「相応しくない」のいずれかに○をつけ、その理由も解答欄に記述せよ。（15 点）

[問い合わせ 3]

事例 I ・ II 共通部分と事例 IIにおいて、キャリアコンサルタントとして、あなたの考える相談者の問題と思われる点を解答欄に記述せよ。（10 点）

[問い合わせ 4]

事例 II のやりとりについて、あなたなら今後どのようなやりとりを面談で展開するか、具体的に解答欄に記述せよ。（10 点）

設問

[問い合わせ]

[問い合わせ]

事例 I の CCt4 (相応しい・相応しくない)

理由 :

事例 II の CCt3 (相応しい・相応しくない)

理由 :

事例 II の CCt5 (相応しい・相応しくない)

理由 :

[問い合わせ]

[問い合わせ]
